

氷棚から切り出された氷を運ぶスタッフら＝20日午前、神戸市灘区六甲山町（撮影・笠原次郎）



## 大寒、天然氷切り出し 六甲山

暦の上では最も寒くなる「大寒」の20日、神戸市灘区の六甲ガーデンテラス・自然体感展望台「六甲枝垂れ」で、氷を切り出し貯蔵する作業があった。スタッフ約20人が厚さ約8センチの天然の氷をチェーンソーで切り、氷室に移した。

同展望台は、標高約890メートルあり、気温は午前10時で氷点下1度。氷棚に張った水は、1週間ほど前からの厳しい冷え込みで分厚い氷になってきた。「氷室」と呼ばれる貯蔵庫に保管され、夏場に冷風を送るために活用される。

（石川 翠）

NEXTに動画